

## 2018(平成 30)年度事業報告

## ■2018 年度中の主な活動・事業（平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 31 年 3 月 31 日）

日 時	活動項目	会場、参加者
4 月 25 日	通常社員総会	ロマン楽器ロマンホール
6 月 18 日	臨時理事会 シナリオ講座検討	ロマン楽器
7 月 7 日～ 9 月 8 日	シナリオ講座開催 (台風で開催延長)	草津市役所
7 月 27 日	高津商会展示会・中島監督対談支援	京都文化博物館
9 月 10 日	親子で楽しむ麗しコンサート開催	ロマン楽器ロマンホール
10 月 26 日	キッズシネマ塾記者会見	草津市役所
11 月 3 日	木瓜原遺跡事前学習会＆ロケハン	立命館大学 B K C
11 月 17, 18 日	キッズシネマ塾撮影	立命館大学 B K C
2 月 17 日	鼓童・小島千絵子さん公演の後援	クレアホール
3 月 10 日	キッズシネマ完成発表会	草津市立図書館
3 月 27 日	まちなか劇場調査「出町座」見学	京都市

## 総 括

2018 年度は、過去 3 年続けた草津シネマ塾（キッズシネマ塾＆シナリオ講座）事業の実績が評価され、草津市から初めて随意契約で業務運営委託を受けることができました。

キッズシネマ塾は新しい試みを加味しながら、古代製鉄遺跡をテーマにユニークな作品づくりに成功。外部からも高い評価をいただきました。シナリオ講座は台風の影響で日程が延びましたが、例年通りに受講生それぞれが作品 1 点を完成させて終了しました。教育委員会生涯学習課には、細かい事務を含め全面協力をいただき、委託された運営業務を円滑に遂行することができました。

初めての事業として 9 月に開催した乳幼児連れ親子対象の「麗しコンサート」は、熱のこもった演奏と、めったにない機会ということで、参加者から好評を博しました。

事業実施を裏打ちする経営基盤の確立に向けた財源確保と会員、サポーターの獲得では目立った成果は得られず、次年度以降の課題に持ち越されました。

上質で心潤う文化芸術の振興を通じ、地域の発展と真の共生社会実現に貢献するのが私たち法人の目的です。2018 年度は、多彩な自主事業を通じて一般市民の参加と理解を一定程度まで広げられたと総括しています。事業の詳細は以下の通りです。

## □事 業

草津市から初めて運営委託（契約委託費 134 万余円）を受けることができた草津シネマ塾事業は、通算 4 回目となりました。このうち、キッズシネマ塾は、市と連携協定を結ぶ立命館大学の支援を得たうえで、例年通り中島貞夫監督の総指揮、NPO 法人京都映画倶楽部の協力で実施。テーマは「木瓜原遺跡—古代製鉄所を訪ねて」としました。撮影に先立つ 11 月 3 日、郷土の歴史理解を深める趣旨で初めての試みとして事前学習会を B K C で開き、市民ら約 50 人が参加。市文化財保護課の協力で、映像による遺跡解説や出土物展示をしていただきました。

撮影本番は11月7、8日の両日、小学生14人が参加して立命館大学びわこくさつキャンパス（BK C）一帯で行いました。木瓜原遺跡はグラウンドの地下にあり、文化財であることから立入りは県や大学の許可が必要でしたが、草津市教委に調整していただき使用許可をいただきました。映画は、遺跡で小学生と古代人が地下で遭遇するという奇抜なアイデアを生かしたストーリーとなりました。小学生たちは遺跡に通じる深いトンネルを登ったり走ったり、演技と撮影に全力で取り組みました。社会へ目を開くという意味でも、貴重な体験になったと思われます。

編集作業を経て、2019年3月10日に開いた作品完成発表会には、市民ら約100人と橋川渉市長はじめ市の関係者も多数参加する盛況でした。郷土の隠れた歴史に触れた小学生たちは口々に「あんな時代が草津にあったとは」「楽しかった、次もやってみたい」と感想を述べていました。事業成果物として京都映画倶楽部を通じ作品DVD計26本を草津市へ納入しました。

シナリオ講座は中島貞夫監督と谷慶子立命館大学准教授を講師に7月7日から9月8日までの期間中、初級、中級に分け計5回開催しました。中島監督からのマンツーマンで指導を受けられる機会であり、老若13人が受講。台風で日程が延伸されながら、1人1作を完成させ、中には監督が「ドラマですぐ使える秀作」と評した作品が2〜3作あり、水準の高さをうかがわせました。

「親子で楽しむ麗しコンサート」は、乳幼児連れでは入りにくいコンサート会場に、気兼ねなく入って楽しんでもらう趣旨で9月10日に開催。約100人の親子連れが訪れ、ソプラノ梅村憲子さんとピアノ稲垣聡さんの演奏を楽しみました。「七つの子」「ぞうさん」など親しみやすい歌が多く、みんなで合唱する場面もあり、お母さん方には「他にはない機会を作ってもらえた」「次も楽しみ」と喜んでいただけました。

#### □活動拡大と第三者評価

キッズシネマ塾の活動は、2019年3月21日に草津市が開いた「市歴史文化基本構想シンポジウム」（アミカホール）で取り上げられ、「木瓜原遺跡—古代製鉄所を訪ねて」が上映されました。パネリストの金田章裕京都大名誉教授らから、歴史文化を活かすまちづくりの視点で、「意義の大きい活動」と、高く評価されました。他のパネリストからは「こういう活動をする市民を見つけ出して支援するのが行政の仕事だ」という発言もありました。

参加小学生の数が限られ、完成作品の上映機会が少ないとはいえ、キッズシネマ塾の活動が市民に徐々に浸透しているのは、上記のシンポを見ても明らかです。草津市草津川跡地整備課は2018年から、3作目の「草津川 今と昔の物語」を、跡地公園の視察・団体見学者に上映するようになっていきます。年度が移りますが、2019年4月の草津宿場まつりでは、草津宿本陣楽座館で過去の作品を上映していただきました。今後、草津市内の季節行事「街あかり」や「アートフェスタくさつ」などへ、上映機会を広げていく予定です。

#### □広報・PR

当法人は草津市広報部門との連携が初めから密接であったため、他の諸団体に比べ新聞を通じたPRや、草津市広報紙への掲載で優位な立場を維持しています。2018年度も、草津シネマ塾の展開や参加者募集では、京都、朝日、読売など各新聞に取り上げられ、市広報紙にも複数回、掲載していただきました。しかしながら、SNSによる広報ではFacebookに若干のアクセスがあったものの、ホームページは外部からはほとんど見られておらず、公開すべき情報も掲載できませんでした。次期は、ホームページを刷新してPR力の強化を図ります。

2018 年度損益計算書  
(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1.会費収入			
正会員会費	140,000	140,000	
2.委託金収入			
草津シネマ塾運営事業	1,343,520	1,343,520	
3.協賛金収入			
麗しコンサート（赤ちゃん）	60,000	60,000	
経常収益合計			1,543,520
II 経常費用			
1.事業費			
キッズシネマ塾			
映画制作費	1,010,000		
施設利用料	32,400		
企画会議費	16,200		
交通費	18,360		
撮影補助機材費	1,296		
印刷費	21,720		
郵送通信費	7,428		
雑費	13,646	1,121,050	
シナリオ講座			
講師謝礼	200,000		
企画会議費	3,240		
印刷費	9,340		
郵送・通信費	3,506		
交通費	4,220		
雑費	2,164	222,470	
麗しコンサート			
出演者謝礼	40,000		
楽器調律費	32,400		
印刷費	21,220	93,620	
まち中劇場視察			
交通費			

2.管理費			
消耗品費			
ホームページ維持費			
郵送費			
印刷費			
交通費			
雑費			
経常費用合計			1,476,200
税引前当期純利益			
法人税、住民税及び事業税			
前期繰越金			
当期純利益			

貸借対照表  
(平成 31 年 3 月 31 日現在)

科 目	金 額 (円)		
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現 金	10,000		
普通預金	187,001		
会費未収金	90,000		
協賛未収金	10,000		
流動資産合計		297,001	
資産の部合計			297,001
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
文化事業引当金	116,192		
流動負債合計		116,192	
負債の部合計			116,192
<b>III 純資産の部</b>			
繰越利益剰余金	113,489		
当期純資産増減額	67,320		
純資産の部合計		180,809	
負債及び純資産の合計			297,001

財産目録  
(平成 31 年 3 月 31 日現在)

科 目	金 額 (円)		
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金	10,000		
普通預金	187,001		
会費未収金	90,000		
協賛未収金	10,000		
流動資産合計		297,001	
資産合計			297,001
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
引当金	116,192		
流動負債合計		116,192	
負債合計			116,192
正味財産			180,809